

高齢者の肺炎球菌予防接種費用を助成

日常でかかる肺炎で一番多い病原菌は肺炎球菌です

令和5年度の定期接種

対象 別表1のとおり
 ※過去にこの予防接種を受けた人は対象外
自己負担金 2000円
接種方法 保険証、予診票(対象者に4月上旬に郵送済み)を持参して、別表2の実施医療機関で接種
定期接種対象外の人への接種費用の一部助成
 定期接種対象外の人に接種費用の一部を助成します。
対象 次の全てを満たす人
 ①接種当日75歳以上
 ②今年度、定期接種の対象外
 ③今までに高齢者肺炎球菌予防接種の費用助成(定期接種を含む)を受けていない
 ※過去に全額自己負担で接種を行った人は、接種から5年以上経過している場合、対象になります(5年以内に接種をすると副反応が強くなる場合があります)
助成額 2000円
接種方法 事前に市保健センターで予診票の交付を受けてから、保険証、予診票を持参し、別表2の医療機関で接種を受けてください
問合せ先 ■市保健センター(☎251321)

(別表1) 令和5年度 高齢者肺炎球菌定期予防接種の対象者

対象	生年月日
65歳になる者	昭和33年4月2日～34年4月1日生
70歳になる者	昭和28年4月2日～29年4月1日生
75歳になる者	昭和23年4月2日～24年4月1日生
80歳になる者	昭和18年4月2日～19年4月1日生
85歳になる者	昭和13年4月2日～14年4月1日生
90歳になる者	昭和8年4月2日～9年4月1日生
95歳になる者	昭和3年4月2日～4年4月1日生
100歳になる者	大正12年4月2日～13年4月1日生

肺炎球菌予防接種の情報はこちら



(別表2) 令和5年度 高齢者肺炎球菌予防接種の実施医療機関 ★は予約制です

地区	医療機関名	住所	電話番号	地区	医療機関名	住所	電話番号
青い鳥ファミリークリニック(★)	青い鳥ファミリークリニック(★)	行幸田28-5	26-2681	吉岡町	中野医院(★)	波川893-33	22-1219
	赤城開成クリニック(★)	赤城町三原田826-10	20-6500		奈良内科医院(★)	波川2078-21	25-1155
	有馬クリニック(★)	有馬1191-3	24-8818		原沢医院	伊香保町伊香保539-7	72-2503
	入内島内科医院(★)	半田545-2	60-7322		ふるまき内科医院(★)	八木原1129-1	25-8881
	井口医院(★)	金井1284-6	25-1100		北毛診療所(★)	波川908-22	24-2818
	石北医院	波川1592	22-1378		北毛病院	有馬237-1	24-1234
	大谷内科クリニック	中村180	20-1881		本沢医院	石原208-1	23-6411
	上之原病院(★)	北橋町上南室167-5	52-2221		みゆきだ内科医院	行幸田342-9	60-6070
	神山内科医院(★)	波川892-23	22-2181		森医院(★)	石原208-4	23-8733
	川島内科クリニック	波川1770	23-2001		湯浅内科クリニック(★)	波川1824-21	20-1311
	北関東循環器病院	北橋町下箱田740	027-232-7111		痛みのクリニック長谷川医院	大久保1406-4	30-5055
	慶生医院(★)	波川1829-21	22-0210		井野整形外科リハビリ内科(★)	南下917-2	30-5255
厚成医院	石原210-8	22-1060	大井内科クリニック(★)	北下1126-1	30-5575		
斎藤内科外科クリニック	金井932-4	22-1678	大滝クリニック(★)	大久保795-3	30-5800		
佐藤医院(★)	北橋町真壁1372	52-3003	岡本内科クリニック(★)	大久保3457	20-5353		
波川医療センター※	白井383	23-1010	佐藤医院	下野田811	54-2756		
波川中央病院(★)	石原508-1	25-1711	関口医院(★)	下野田686-1	55-5122		
関口病院(★)	波川1693-12	22-2378	田中病院(★)	陣場98	54-2106		
高野外科胃腸科医院	波川1934-21	24-2454	榑東さいとう医院	新井1182-2	54-1055		
塚越クリニック	波川3902-5	60-7700	榑東わかばクリニック(★)	山子田1369-1	20-5531		
とまるクリニック	金井599-1	26-7711					

※かかりつけ患者のみ対象

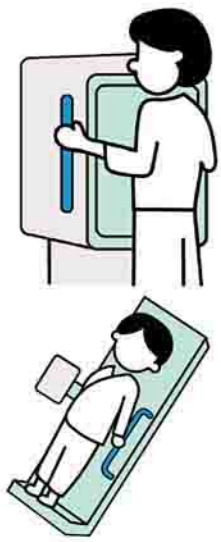
がんは予防できる病気です

自分をがんから守るのは、自分自身です

○がん検診を受けましょう

がんは、心疾患・脳血管疾患と並び、日本人の死因の上位を占める三大疾患の一つで、生涯において2人に1人が一度はがんにかかるという推計があるほど、皆さんにとって身近な病気となっています。

がん検診で早期にがんを見つけ、適切な治療を行うことが、がんによる死亡を防ぐことにつながります。ほとんどの早期がんは症状がないため、自覚症状のない健康な人こそ検診を受ける必要があります。また、がん検診は1回受けて終わりではありません。その結果が「異常なし」でも、その後にがんができる可能性があるため、定期的に受診することが大切です。なお、日頃の生活習慣や生活環境を見直すことで、がんにかかるリスクを低減できることが分かっています。



次の「がんを防ぐための新12か条」を確認して、自分のライフスタイルを振り返り、今日から変えて、がんを予防しましょう。詳しくは、■市保健センター(☎251321)へ。

「がんを防ぐための新12か条」

- 1条 たばこは吸わない
- 2条 他人のたばこの煙を避ける
- 3条 お酒はほどほどに
- 4条 バランスのとれた食生活を
- 5条 塩辛い食品は控えめに
- 6条 野菜や果物は不足にならないように
- 7条 適度に運動
- 8条 適切な体重維持
- 9条 ウイルスや細菌の感染予防と治療
- 10条 定期的ながん検診を
- 11条 身体の異常に気がいたら、すぐに受診を
- 12条 正しいがん情報でがんを知ることから

【出典：公益財団法人がん研究振興財団】

■令和5年度結核・肺がん検診が始まります

肺がんは、呼吸時の空気の通り道である気管支や、ガス交換の場である肺の細胞が、がん化して起こる病気です。肺がんの最大の原因は喫煙といわれており、たばこを吸う人は、吸わない人に比べて肺がんになるリスクが3〜4倍になります。肺がんで死亡した人のうち、男性では約6割、女性では約2割が、たばこを吸っていないければ、がんにはかからなかったと推計されています。また、たばこを吸わない人でも受動喫煙により肺がんになるリスクが上がると報告されています。たばこ以外に肺がんの原因となると考えられているのは次のとおりです。▽石綿(アスベスト)などの物質 ▽大気汚染 ▽放射線 ▽遺伝的要因 ▽呼吸器疾患の既往歴 など

■肺がん検診の受診票を郵送します

結核・肺がん検診(65歳以上)、肺がん検診(40〜64歳)の受診票を対象の人へ郵送します。受診方法の詳細は、同封する案内通知を確認してください。年に1回の肺がん検診を受けて、自分の健康を確認しましょう。